

平成 2 4 年度

北九州市における石綿の健康リスク調査報告書

平成 2 5 年 3 月

北九州市



—目次—

1. 目的.....	1
2. 調査.....	1
3. 結果.....	2
4. 今後の予定.....	3
5. 検査項目別人数.....	4
6. 年齢階層別人数.....	4
7. 指定医療機関別人数.....	4
8. 各年度受診状況別人数.....	5
9. 各年度の受診者数及び累計実人数.....	6
10. 次年度検査予定者、検査終了者.....	6
11. 平成 24 年度に受診しなかった者のアンケート結果.....	6
12. ばく露歴と画像所見に係る集計表.....	7
13. ばく露歴集計.....	19
14. ばく露歴及び年齢階層分類表.....	20
15. ばく露歴と X 線画像所見のクロス集計表.....	20
16. ばく露歴と CT 画像所見のクロス集計表.....	21
17. ばく露歴分類が「オ(その他)」の者に関するプロット図.....	26
18. 平成 23 年度調査受診者の診断経過について.....	29

## 1. 目的

一般環境を経由した石綿ばく露による健康被害の可能性があった地域において、石綿取扱い施設の周辺住民に対して、問診、胸部X線検査、及び胸部CT検査を実施することにより、石綿ばく露の医学的所見である胸膜プラーク等の所見の有無と健康影響との関係に関する知見を収集する。

平成22年度からの第2期石綿健康リスク調査(平成22年度～平成26年度の5年間を予定)においては、対象者を大幅に増加させるとともに、毎年の検査(年1回)や健康状況の確認を確実にを行うことにより、石綿ばく露の状況の違い等による石綿関連所見や関連疾患の発生状況の比較等を行い、石綿ばく露者の中・長期的な健康管理のあり方を検討するための知見を収集する。

北九州市においては、平成21年度から実施しているが、平成24年度においても引き続き実施することにより、石綿ばく露の状況の違い等による石綿関連所見等の集計を行い、周辺住民の健康管理に資する。

## 2. 調査

### ① 対象者

平成16年以前に北九州市門司区に居住歴のある者で、石綿ばく露の可能性のある者を調査対象者とした。平成23年度より、平成16年以前に北九州市門司区に「居住歴のある市民」から「居住歴のある者」に対象を拡大した。

### ② 内容

#### (ア) 広報

平成22～23年度の調査協力者(今後の協力を辞退した者を除く)への案内状の送付に加え、市政だより(7月1日号)、自治体の回覧板、医療機関でのポスター掲示、対象地区での住民説明会や石綿スレート工場跡地周辺地区への戸別チラシ配布のほか、市ホームページ、フリーペーパー、近隣自治体広報誌への記事掲載等により募集を行った。

#### (イ) 受付及び問診

受付は北九州市総合保健福祉センター管理課にて行った。申込者に対し、看護師立会いのもと問診票を用いた問診を実施した。問診時に、本調査事業の説明、調査協力に対する同意をとり、調査台帳に登録を行い、胸部X線検査、胸部CT検査の精密診断を実施するにあたり、指定医療機関への受診券を発行した。

#### (ウ) 検診

北九州市が発行した受診券を指定医療機関に提出し、胸部X線検査、胸部CT検

査、診察を行った。指定医療機関は、九州労災病院門司メディカルセンター、九州労災病院、西日本産業衛生会、産業医科大学病院、北九州市立門司病院の 5 つの医療機関とした。なお、継続受診者は、胸部 X 線検査を原則とし、必要に応じて胸部 CT 検査を行った。

#### (エ) 医学的所見の確認

石綿による健康影響に関する調査を円滑に行うために専門家会議を設置するとともに、専門家会議の運営を円滑に進めるために読影部会を設置した。医学的所見の確認にあたっては、読影部会による読影を行い、読影部会で判定保留となったものについては、専門家会議で再度読影を行い、受診者に郵送で結果を通知した。

#### 【医学的所見の振り分けの考え方】

- i) 精密検査又は医療の必要があると判断された者  
認められた所見について説明し、すみやかに医療機関を受診し、医師の指示に従うよう指導する。
- ii) 所見を有しているが、医療の必要がないとされた者  
認められた所見について説明し、直ちに医療機関へ行く必要はないが、経過観察を行うため、引き続き、当調査による検査を受診するようお願いする。(受診勧奨)
- iii) 所見を有しない者  
所見が認められないことを説明し、経過を確認するため、引き続き、当調査による検査を受診するようお願いする。(受診勧奨)

#### (オ) データの集計

北九州市石綿健康リスク調査専門家会議を 3 回開催し、医学的な観点からの判断や検討を行った。

### 3. 結果

問診を受けた者は 183 人で、胸部 X 線検査・胸部 CT 検査まで受診した者も 183 人であった。

183 人のうち、石綿取扱い施設が稼動していた平成 16 年以前に北九州市門司区に居住していた者は 178 人であった。その内訳は以下のとおりである。

- ① 平成 24 年度初めて受診した者は 58 人 (32.6%)、平成 23 年度より継続して受診した者は 34 人 (19.1%)、平成 22 年度より継続して受診した者は 32 人 (18.0%)、平成 21 年度より継続して受診した者は 40 人 (22.5%)、その他連続はしていないが 2 回以上受診している者は 14 人 (7.8%) であった。
- ② 性別では、男性 97 人 (54.5%)、女性 81 人 (45.5%) であった。

- ③ 現在北九州市門司区に居住している者は、147人（82.6%）であった。
- ④ 年齢は、17歳から88歳までで、年齢別に見ると、60歳代受診者が71人（39.9%）と一番多く、次いで70歳代61人（34.3%）、80歳代12人（6.7%）、その他の合計は34人であった。
- ⑤ ばく露歴は19ページのB表のばく露分類「ア」（直接職歴あり）に相当する者が74人と最も多く、次いで「ウ」（家庭内ばく露あり）に相当する者が28人であった。
- ⑥ 石綿関連所見のある者33人のうち、胸膜プラークの所見がある者が26人で、石綿関連の肺野の間質影がある者は2人であった。
- ⑦ 胸膜プラークを有する26人のうち、ばく露歴として、直接石綿を取り扱っていた職歴がある者は21人、直接ではないが職場で石綿ばく露の可能性のある間接ばく露歴がある者が2人、立入・屋内環境ばく露の可能性のある者が2人、その他の原因によるばく露が疑われる者が1人であった。この者は、石綿取扱施設の近隣に永年居住し、直接的あるいは間接的に石綿に接触した機会を有しておらず、一般環境を経由した石綿ばく露が強く疑われた。
- ⑧ 平成23年度受診し、経過観察となった者29人中19人が平成24年度にも受診しており、平成24年度の所見は、新所見1人、所見の変化あり4人、不変14人であった。
- ⑨ 今回の検診においては、経過観察37人（石綿由来の所見のある者は25人、石綿以外の所見のある者12人）であり、異常なし137人、要精査3人、要医療1人であった。

#### 4. 今後の予定

平成25年度においては、新規の調査対象者の募集を行うとともに、平成22年度から平成24年度に受診した者についても継続して調査への協力を求め、データの更なる蓄積を図っていく予定である。

## 5. 検査項目別人数

表1 検査項目別人数

受診内容	合計	
	(人)	(%)
問診＋胸部X線＋胸部CT	94	51.4%
問診＋胸部X線のみ	89	48.6%
問診＋胸部CTのみ	0	0.0%
問診のみ	0	0.0%
合計	183	100.0%

※平成25年3月29日現在

## 6. 年齢階層別人数

表2 年齢階層別人数

	合計		男		女	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
40歳未満	9	4.9%	5	5.0%	4	4.9%
40～49歳	14	7.7%	11	10.9%	3	3.7%
50～59歳	14	7.7%	5	5.0%	9	11.0%
60～69歳	72	39.3%	39	38.6%	33	40.2%
70～79歳	62	33.9%	32	31.7%	30	36.6%
80～89歳	12	6.6%	9	8.9%	3	3.7%
90～99歳	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
100歳以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	183	100.0%	101	100.0%	82	100.0%

※問診のみの者は含め、辞退者は除く。

※平成25年3月29日現在

## 7. 指定医療機関別人数

表3 指定医療機関別人数

指定医療機関名	合計		男		女	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
九州労災病院門司メディカルセンター	96	52.5%	50	49.5%	46	56.1%
西日本産業衛生会	38	20.8%	21	20.8%	17	20.7%
北九州市立市立門司病院	24	13.1%	15	14.9%	9	11.0%
九州労災病院	17	9.3%	11	10.9%	6	7.3%
産業医科大学病院	8	4.4%	4	4.0%	4	4.9%
合計	183	100.0%	101	100.0%	82	100.0%

※問診のみの者や辞退者は除く。

※平成25年3月29日現在

## 8. 各年度受診状況別人数

表4 受診状況別人数

分類	平成21 年度の 受診者	平成22 年度受 診	平成23 年度受 診	平成24 年度受 診	平成24年度受診者数						
					受診者			うち調査対象者			
					計	男性	女性	計	男性	女性	
平成21年度の 受診者	●	●	●	●	40	19	21	40	19	21	
	●	●		●	5	4	1	5	4	1	
	●		●	●	2	1	1	2	1	1	
	●			●	0	0	0	0	0	0	
平成22年度 新規受診者	/	●	●	●	32	16	16	32	16	16	
	/	●		●	7	4	3	7	4	3	
平成23年度 新規受診者	/	/	●	●	35	21	14	34	20	14	
平成24年度 新規受診者	/	/	/	●	62	36	26	58	33	25	
小計					183	101	82	178	97	81	
平成21年度の 受診者	●				※1	81	41	40	81	41	40
	●	●			※2	22	16	6	22	16	6
	●	●	●		※3	10	3	7	10	3	7
	●		●		※4	3	1	2	3	1	2
平成22年度 新規受診者	/	●	●		※5	1	0	1	1	0	1
	/	●			※6	37	19	18	37	19	18
平成23年度 新規受診者	/	/	●		※7	46	26	20	44	25	19
小計					200	106	94	198	105	93	
合計					383	207	176	376	202	174	

※受診した年度にすべて●を記入

※平成25年3月29日現在

※1 平成21年度に受診した者のうち、平成22～24年度に受診しなかった者(問診のみの者を含む)

※2 平成21年度に受診し、且つ平成22年度に受診した者のうち、平成23～24年度に受診しなかった者(問診のみの者を含む)

※3 平成21年度に受診し、且つ平成22年度及び23年度に受診した者のうち、平成24年度に受診しなかった者(問診のみの者を含む)

※4 平成21年度に受診し、且つ平成23年度に受診した者のうち、平成22年度及び24年度に受診しなかった者(問診のみの者を含む)

※5 平成21年度に受診せず、平成22年度及び23年度に受診した者のうち、平成24年度に受診しなかった者(問診のみの者を含む)

※6 平成21年度に受診せず、平成22年度に受診した者のうち、平成23～24年度に受診しなかった者(問診のみの者を含む)

※7 平成21年度に受診せず、平成23年度に受診した者のうち、平成22年度及び24年度に受診しなかった者(問診のみの者を含む)

## 9. 各年度の受診者及び累計実人数

表5 各年度の受診者数及び累計実人数

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	累計延人数	累計実人数
受診者	148	153	164	183	648	362
うち調査対象者	148	153	161	178	640	355

※ 問診のみの者を除く。

## 10. 次年度検査予定者、検査終了者

表6 次年度検査予定者、検査終了者

	受診者						うち調査対象者					
	計		男性		女性		計		男性		女性	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
次年度検査予定者	182	99.5%	100	99.0%	82	100.0%	177	99.4%	96	99.0%	81	100.0%
検査終了者	1	0.5%	1	1.0%	0	0.0%	1	0.6%	1	1.0%	0	0.0%
合計	183	100.0%	101	100.0%	82	100.0%	178	100.0%	97	100.0%	81	100.0%

※平成25年3月29日現在

## 11. 平成24年度受診しなかった者のアンケート結果

表7 平成24年度に受診しなかった者のアンケート結果

表7-1 平成24年度未受診者<sup>※1</sup>数

	受診者						うち調査対象者					
	合計		男性		女性		合計		男性		女性	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
平成24年度未受診者	119	100.0%	65	100.0%	54	100.0%	117	100.0%	64	100.0%	53	100.0%
うち回答者	60	50.4%	31	47.7%	29	53.7%	59	50.4%	31	48.4%	28	52.8%

※1 平成24年度未受診者は、平成22～23年度の間に1度でも受診し、平成24年度に受診しなかった者

表7-2 平成24年度に受診しなかった理由

	受診者(回答件数)						うち調査対象者(回答件数)					
	合計		男性		女性		合計		男性		女性	
	(件数)	(%)	(件数)	(%)	(件数)	(%)	(件数)	(%)	(件数)	(%)	(件数)	(%)
前回異常がなかったから	18	30.0%	11	35.5%	7	24.1%	18	30.5%	11	35.5%	7	25.0%
自覚症状(異常)がないから	11	18.3%	5	16.1%	6	20.7%	11	18.6%	5	16.1%	6	21.4%
忙しく時間がないから	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
住民健診で受けたから	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
職場健診を受けたから	1	1.7%	1	3.2%	0	0.0%	1	1.7%	1	3.2%	0	0.0%
人間ドックで受けたから	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
石綿関連疾患が判明し、治療中だから	2	3.3%	1	3.2%	1	3.4%	2	3.4%	1	3.2%	1	3.6%
石綿関連以外の他疾患が判明し、治療中だから	3	5.0%	2	6.5%	1	3.4%	3	5.1%	2	6.5%	1	3.6%
その他の理由	27	45.0%	11	35.5%	16	55.2%	26	44.1%	11	35.5%	15	53.6%
回答数合計	62		31		31		61		31		30	
回答者件数	60		31		29		59		31		28	

※アンケートは、複数回答可として実施  
※%は、回答者件数に対する割合を示す。

## 12. ばく露歴と画像所見に係る集計表

A-1表：調査対象者（平成16年以前に北九州市門司区に居住していた者）の一覧表：178名  
通し番号1～30

A-1表：調査対象者（平成16年以前に北九州市門司区に居住していた者）の一覧表：178名

症例番号	性別	生年(西暦)	H21年度の受診の有無	H22年度X線所見	H23年度X線所見	H24年度X線所見	H25年度X線所見	H26年度X線所見	H22年度CT所見	H23年度CT所見	H24年度CT所見	H25年度CT所見	H26年度CT所見	ア直接職歴あり	イ間接職歴あり	ウ家庭内ばく露あり	エ立入・屋内環境ばく露あり	オその他	ばく露歴分類	備考(その他所見、特記事項)	次年度の受診
1	男	1940代	有	㊹	㊹	㊹			—	—	—						●	●	エ	右肋骨骨折後	
2	女	1940代	有	なし	なし	なし			㊷疑	㊹	㊹					●		●	ウ	右上葉結節影	
3	女	1940代	有	なし	なし	なし			㊹	㊹	—			●				●	ア		
4	女	1940代	有	なし	検査せず	なし			—	—	—					●		●	ウ		
5	男	1950代	有	㊹	㊹	なし			—	—	—							●	オ		
6	女	1950代	有	なし	なし	なし			—	—	—							●	オ		
7	男	1940代	有	なし	なし	㊹			㊹	—	㊹			●				●	ア	右中葉炎症性変化	
8	女	1940代	有	なし	なし	㊹			㊹	—	㊹							●	オ	左肺下葉索状影(不変)	
9	女	1950代	有	なし	なし	なし			—	—	—							●	オ		
10	男	1930代	有	㊹	㊹	㊹			㊹	—	—			●			●		ア		
11	男	1950代	有		なし	なし				なし	—			●			●	●	ア		
12	女	1940代	有	㊹	㊹	㊹			㊹	㊹	—					●		●	ウ	両肺散布影	
13	女	1950代	有	㊵疑	㊵	㊵			㊵㊷疑	㊵	㊵㊹			●		●		●	ア	㊵石綿以外の原因㊹結節影	
14	男	1930代	有	㊹	㊹	なし			㊹	—	—							●	オ		
15	男	1930代	有	㊹	㊹	㊹			㊹	—	—						●	●	エ	右中肺野結節	
16	男	1930代	有	㊹	なし	なし			—	—	—			●				●	ア		
17	男	1930代	有	㊲		㊲			㊲㊵		㊲			●					ア		
18	女	1940代	有	なし	なし	なし			なし	なし	—			●				●	ア		
19	女	1940代	有	なし	なし	なし			㊹	㊹	㊹			●				●	ア	右肺小結節(不変)	
20	女	1940代	有	なし	なし	なし			—	なし	—					●		●	オ		
21	女	1950代	有	なし	なし	なし			—	—	—					●			ウ		
22	男	1940代	有	なし	なし	なし			㊹	—	—						●	●	エ		
23	男	1940代	有	㊲㊵疑 ㊹		㊲㊵			㊲㊵㊹		㊲㊵			●				●	ア		
24	男	1930代	有	㊵㊹		㊹			㊵㊹		㊹			●			●	●	ア	右肺炎陳旧性変化、 右下葉炎症後変化	
25	女	1960代	有	なし	なし	なし			—	—	—							●	オ		
26	女	1950代	有	なし	なし	なし			—	—	—						●	●	エ		
27	男	1940代	有	なし	なし	なし			—	なし	—						●	●	エ		
28	女	1950代	有	なし	なし	なし			—	なし	—							●	オ		
29	女	1940代	有	なし	なし	㊹			㊹	なし	—				●	●		●	イ	右肺索状影(不変)	
30	女	1940代	有	㊲㊵		㊲㊵㊹			㊲㊵㊸ ㊹		㊲㊵㊸ ㊹			●				●	ア	両側肺内多発結節影	

通し番号 31~65

症例番号	性別	生年(西暦)	H21年度の受診の有無	H22年度X線所見	H23年度X線所見	H24年度X線所見	H25年度X線所見	H26年度X線所見	H22年度CT所見	H23年度CT所見	H24年度CT所見	H25年度CT所見	H26年度CT所見	ア直接職業あり	イ間接職業あり	ウ家庭内ばく露あり	エ立入・屋内環境ばく露あり	オその他	ばく露歴分類	備考(その他所見、特記事項)	次年度の受診
31	男	1930代	有	②		②			②⑤⑨		②⑤			●					ア	⑤石棉以外の原因	
32	女	1940代	有	なし	なし	なし			⑨	—	—							●	オ		
33	男	1940代	有	なし	なし	なし			なし	なし	⑨							●	オ	右下葉小結節	
34	男	1940代	有	なし	なし	なし			—	—	—			●					ア		
35	男	1930代	有	なし	なし	なし			⑨	⑨	—						●	●	エ		
36	男	1960代	有	なし	なし	なし			⑨	なし	—			●					ア		
37	男	1950代	有	なし	なし	なし			—	なし	—							●	オ		
38	女	1940代	有	なし	なし	なし			—	なし	—				●				イ		
39	女	1950代	有		なし	なし				なし	—							●	オ		
40	女	1940代	有	なし	なし	なし			—	なし	—							●	オ		
41	女	1950代	有	なし	なし	なし			—	なし	—					●			ウ		
42	男	1940代	有	⑨	なし	なし			⑨	⑨	⑨			●				●	ア	右胸膜石灰化	
43	男	1940代	有	なし	なし	なし			なし	—	—			●			●	●	ア		
44	男	1940代	有	なし	なし	⑨			—	なし	⑨				●				イ	右中葉小結節(不変)	
45	男	1940代	有	なし	なし	なし			—	—	なし							●	オ		
46	男	1940代	有	なし	なし	なし			なし	なし	—				●	●		●	イ		
47	女	1940代	有	なし	なし	なし			—	—	—							●	オ		
48	男	1930代		なし		⑤			⑤⑨		—			●				●	ア	⑤石棉以外の原因	
49	男	1940代		なし	なし	なし			⑨	—	—			●	●				ア		
50	男	1950代		なし	なし	なし			なし	—	—				●				イ		
51	女	1940代		なし	なし	なし			なし	なし	—					●		●	ウ		
52	男	1940代		⑨	⑦疑	⑨			②⑨	①②⑨	⑤⑨			●				●	ア	⑤石棉以外の原因⑨ 右上葉炎症後変化	
53	男	1920代		⑤	⑤	⑤			⑤⑨	⑧⑨	⑧⑨			●				●	ア	両側小結節(不変)	
54	男	1950代		なし	なし	なし			なし	なし	—			●		●			ア		
55	男	1930代		⑨	⑤疑⑨	⑨			⑤	⑨	—			●			●		ア	右肋骨横隔膜角鈍化	
56	男	1930代		なし		なし			なし		—							●	オ		
57	女	1940代		なし		なし			⑨		—							●	オ		
58	男	1940代		なし		なし			なし		—						●	●	エ		
59	女	1930代		②		②			②		②			●				●	ア		
60	男	1940代		⑨	⑨	⑨			⑨	⑨	—							●	オ	左肋骨横隔膜角鈍化	
61	女	1950代		なし	なし	なし			なし	なし	—							●	オ		
62	男	1940代		なし	なし	なし			なし	なし	—			●				●	ア		
63	男	1940代		なし	なし	なし			⑤	—	—				●		●		イ		
64	女	1940代		なし	なし	なし			なし	なし	—					●			ウ		
65	男	1940代		なし	なし	なし			なし	なし	—						●	●	エ		

通し番号 66~100

症例番号	性別	生年(西暦)	H21年度の受診の有無	H22年度X線所見	H23年度X線所見	H24年度X線所見	H25年度X線所見	H26年度X線所見	H22年度CT所見	H23年度CT所見	H24年度CT所見	H25年度CT所見	H26年度CT所見	ア直接職業あり	イ間接職業あり	ウ家庭内ばく露あり	エ立入・屋内環境ばく露あり	オその他	ばく露歴分類	備考(その他所見、特記事項)	次年度の受診
66	女	1940代		㊹		なし			㊹		—					●		●	ウ		
67	男	1930代		㊹	㊹	㊹			㊹	㊹	—			●				●	ア	右胸膜石灰化	
68	女	1930代		なし	なし	なし			なし	なし	—					●		●	ウ		
69	女	1930代		㊹	なし	なし			㊲	㊲	㊲			●				●	ア		
70	男	1940代		なし	なし	なし			㊹	㊹	—			●			●	●	ア		
71	女	1940代		㊹	なし	なし			なし	㊵	㊹					●		●	ウ	右肺小結節	
72	男	1940代		なし	なし	㊹			㊹	㊹	—			●				●	ア	左肺炎症後変化	
73	男	1940代		㊹	なし	なし			㊹	㊹	—						●		エ		
74	女	1940代		なし	なし	なし			㊹	—	—					●			ウ		
75	男	1960代		なし		なし			なし		—			●				●	ア		
76	女	1940代		なし	なし	なし			㊹	—	—							●	オ		
77	女	1930代		なし	なし	なし			㊹	なし	—					●			ウ		
78	女	1950代		なし	なし	なし			㊹	—	—			●					ア		
79	男	1930代		㊲疑㊹	㊲疑	㊹			㊹	㊹	—			●					ア	胸膜正中切開術後	
80	女	1930代		㊹	なし	なし			㊹	—	—			●					ア		
81	女	1950代		なし	なし	なし			㊹	㊹	—					●		●	ウ		
82	女	1940代		なし	なし	なし			なし	なし	—							●	オ		
83	女	1950代		なし	なし	なし			なし	なし	なし					●		●	ウ		
84	女	1930代		なし	なし	なし			なし	—	—							●	オ		
85	女	1950代		なし	なし	なし			㊹	—	—							●	オ		
86	男	1950代		㊹	なし	㊹			㊵	なし	—							●	オ	右胸膜プラ	
87	男	1940代			なし	㊹			なし	—	—			●			●	●	ア	胸膜下結節(不変)	
88	女	1930代			なし	なし			なし	—	—			●		●	●	●	ア		
89	女	1940代			なし	なし			なし	—	—			●		●	●	●	ア		
90	男	1930代			なし	なし			㊲	㊲	㊲			●					ア		
91	男	1940代			㊹	なし			なし	—	—			●					ア		
92	女	1940代			なし	なし			㊹	—	—				●	●	●		イ		
93	男	1920代			㊹	㊲			㊲㊹	㊲	㊲				●			●	イ		
94	女	1940代			なし	なし			㊹	—	—					●		●	ウ		
95	男	1960代			検査せず	なし				㊲	㊲			●			●		ア		
96	男	1940代			なし	なし			㊲	㊹	—			●		●		●	ア	左下葉素状影(不変)	
97	女	1940代			㊷疑	㊹			㊹	—	—					●			ウ	左肺下葉炎症後変化	
98	男	1950代			なし	なし			なし	—	—			●			●	●	ア		
99	男	1940代			なし	㊲			㊱㊶	㊶	㊶			●		●	●	●	ア	㊶不変	
100	女	1960代			なし	なし			なし	㊹	—					●		●	ウ		

通し番号 101~135

症例番号	性別	生年(西暦)	H21年度の受診の有無	H22年度X線所見	H23年度X線所見	H24年度X線所見	H25年度X線所見	H26年度X線所見	H22年度CT所見	H23年度CT所見	H24年度CT所見	H25年度CT所見	H26年度CT所見	ア直接職業あり	イ間接職業あり	ウ家庭内ばく露あり	エ立入・屋内環境ばく露あり	オその他	ばく露歴分類	備考(その他所見、特記事項)	次年度の受診
101	男	1940代			なし	⑨				なし	—			●					ア		
102	男	1960代			なし	なし				なし	—			●			●		ア		
103	男	1960代			なし	なし				なし	—							●	オ		
104	女	1960代			なし	なし				なし	なし							●	オ		
105	男	1950代			なし	なし				なし	—						●	●	エ		
106	女	1960代			なし	なし				なし	—							●	オ		
107	女	1930代			⑨	⑨				⑨	⑨							●	オ		
108	男	1960代			なし	なし				なし	—						●		エ		
109	男	1930代			②疑⑤	②疑⑦疑⑨				②⑨	②⑦疑⑨			●			●		ア	左肺上葉炎症後変化	
110	男	1930代			なし	なし				②	②			●			●	●	ア		
111	男	1940代			なし	なし				⑨	—			●			●		ア		
112	男	1930代			②疑	なし				⑨	—			●					ア		
113	女	1940代			なし	なし				なし	—							●	オ		
114	男	1940代			なし	なし				なし	—			●					ア		
115	女	1950代			なし	なし				⑨	—					●			ウ		
116	女	1940代			なし	なし				なし	—				●	●	●	●	イ		
117	男	1950代			②疑	なし				②	②			●			●	●	ア		
118	女	1940代			なし	なし				なし	—			●		●	●		ア		
119	女	1940代			なし	⑨				⑨	—			●		●	●	●	ア	左肺部分切除後(不変)	
120	男	1930代			なし	なし				②	②			●		●	●	●	ア		
121	男	1950代				なし					なし			●				●	ア		
122	男	1940代				なし					⑤							●	オ	⑤石綿以外の原因	
123	男	1930代				①②					①②⑥疑⑨			●					ア	肺気腫	
124	女	1930代				⑨					②⑧⑨						●	●	エ	両肺肺炎炎症性変化	
125	女	1930代				⑨					⑨							●	オ	左肺手術後、右下肺小結節	
126	女	1970代				なし					なし					●		●	ウ		
127	女	1930代				なし					②				●				イ		
128	男	1950代				②					②			●					ア		
129	男	1940代				②疑					②						●		エ		
130	男	1940代				②					②			●		●		●	ア		
131	女	1940代				⑦疑					⑨				●	●			イ		
132	女	1940代				⑨					⑨					●		●	ウ	両側炎症後変化	
133	男	1930代				なし					なし			●				●	ア		
134	女	1930代				なし					なし					●		●	ウ		
135	女	1950代				なし					なし					●		●	ウ		

通し番号 136~170

症例番号	性別	生年(西暦)	H21年度の受診の有無	H22年度X線所見	H23年度X線所見	H24年度X線所見	H25年度X線所見	H26年度X線所見	H22年度CT所見	H23年度CT所見	H24年度CT所見	H25年度CT所見	H26年度CT所見	ア直接職業あり	イ間接職業あり	ウ家庭内ばく露あり	エ立入・屋内環境ばく露あり	オその他	ばく露歴分類	備考(その他所見、特記事項)	次年度の受診
136	男	1940代				⑨					⑨				●				イ	右肺尖炎症性変化、左肺尖ブラ	
137	女	1940代				なし					なし					●		●	ウ		
138	男	1940代				なし					なし			●					ア		
139	男	1940代				なし					⑨					●		●	ウ	両側胸膜の石灰化	
140	男	1940代				なし					⑨			●				●	ア	右肺中葉小結節	
141	女	1930代				②⑦疑					②								オ		
142	男	1960代				なし					なし				●		●	●	イ		
143	男	1940代				⑨					⑨							●	オ	右肋骨横隔膜角鈍化	
144	女	1940代				なし					⑨						●	●	エ	右肺尖小結節(不変)	
145	男	1930代				なし					②⑨			●					ア	右肺内板状無気肺	
146	男	1970代				なし					なし							●	オ		
147	男	1950代				⑨					⑨				●			●	イ	両下葉気管支拡張	
148	男	1930代				②					②			●					ア		
149	女	1980代				なし					なし							●	オ		
150	男	1970代				なし					なし			●					ア		
151	男	1940代				なし					②			●					ア		
152	女	1950代				⑨					⑨					●		●	ウ	両側気管支拡張症	
153	男	1980代				なし					なし			●					ア		
154	女	1940代				なし					なし					●		●	ウ		
155	男	1940代				なし					なし				●				イ		
156	男	1940代				なし					なし			●					ア		
157	女	1950代				なし					なし				●			●	イ		
158	女	1970代				なし					なし							●	オ		
159	男	1970代				なし					⑨				●			●	イ	右上肺ブラ	
160	男	1940代				なし					なし			●					ア		
161	男	1920代				⑤					②疑⑤⑦疑			●				●	ア	⑤石綿以外の原因	
162	女	1930代				なし					なし			●		●	●		ア		
163	女	1950代				なし					なし				●				イ		
164	女	1950代				なし					⑦疑					●		●	ウ		
165	男	1970代				なし					なし			●		●		●	ア		
166	男	1920代				なし					なし			●					ア		
167	女	1950代				なし					なし							●	オ		
168	男	1930代				なし					②⑨			●				●	ア	右中葉小結節	
169	女	1930代				なし					⑤					●			ウ	⑤石綿以外の原因	
170	男	1940代				なし					⑨							●	オ	両側気管支拡張	

通し番号 171～178

症例番号	性別	生年(西暦)	H21年度の受診の有無	H22年度X線所見	H23年度X線所見	H24年度X線所見	H25年度X線所見	H26年度X線所見	H22年度CT所見	H23年度CT所見	H24年度CT所見	H25年度CT所見	H26年度CT所見	A直接職業あり	I間接職業あり	ウ家庭内ばく露あり	エ立入・屋内環境ばく露あり	オその他	ばく露歴分類	備考(その他所見、特記事項)	次年度の受診
171	女	1950代				なし					なし							●	オ		
172	女	1970代				なし					⑨							●	オ	右下肺索状影	
173	男	1970代				なし					なし							●	オ		
174	男	1960代				なし					なし			●		●		●	ア		
175	男	1960代				なし					なし						●		エ		
176	男	1970代				なし					なし							●	オ		
177	女	1990代				なし					なし							●	オ		
178	女	1940代				②					②⑨			●					ア	甲状腺腫大	

A表の注釈

注1: 所見については、胸部X線検査および胸部CT検査の結果を踏まえ、石棉ばく露に関連する可能性がある①～⑧及びその他の所見⑨(石棉ばく露に関連しない)を確認する(重複含む)。

- ① 胸水貯留
- ② 胸膜プラーク(限局性の胸膜肥厚斑)
- ③ びまん性胸膜肥厚
- ④ 胸膜腫瘍(中皮腫)疑い
- ⑤ 肺野の間質影
- ⑥ 円形無気肺
- ⑦ 肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)
- ⑧ リンパ節の腫大
- ⑨ その他の所見
- なし 特記すべき所見がない

注2: ばく露歴については、該当するものすべて●を記入(A～オは重複可)

- A. 直接石棉を取り扱っていた職業がある者
- イ. 直接ではないが、職場で石棉ばく露した可能性のある職業がある者
- ウ. 家族に石棉ばく露の明らかな職業がある者で作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石棉ばく露の可能性が考えられる者
- エ. 職場以外で石棉取扱施設や吹き付け石棉の事務室等に立ち入り経験がある者
- オ. 上記A～エ以外のばく露の可能性が特定できないもの(居住地や学校・職場等の周辺に石棉取扱施設がある場合も含む)

(「具体的なばく露歴」の記入例)

- 例1 幼少期(S25-27頃)に石棉工場で遊んだ経験があり、父が石棉工場で勤務していた。 → ウとエ
- 例2 石棉工場近くの○○小学校にS30-35の6年間通学 → オ
- 例3 S28-40の間、設備の点検のため石棉工場に定期的に入出入りしていた。かつ、住居が石棉工場に近接(S26-50に○○1丁目に居住)していた。 → イとオ

イとエの分類が紛らわしいもの例: 業務上で吹き付け石棉がある場所や石棉工場の敷地内に立入る場合は、原則「イ」とする。ただし、作業現場以外(事務室・当直室・食堂など)への立入に限っては「エ」とする。

注3: ばく露歴分類については、各事案のばく露要因を1つに分類するもの。なお、複数のばく露歴がある者については、基本的には下記に従うものとする。

- A. 直接石棉を取り扱っていた職業がある者
- イ. 上記Aに該当せず、直接ではないが、職場で石棉ばく露した可能性のある職業がある者
- ウ. 上記A～イに該当せず、家族に石棉ばく露の明らかな職業がある者で作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石棉ばく露の可能性が考えられる者
- エ. 上記A～ウに該当せず、職場以外で石棉取扱施設や吹き付け石棉の事務室等に立ち入り経験がある者
- オ. 上記A～エに該当しないもの

上記以外による分類が適当であると考えられる場合や判断が困難な場合には、症例番号と具体的な内容を記入し、具体的な分類については環境省と相談することとする。

注4: 備考欄については、精密検査項目、特記すべき病名や所見、検査などその他の特記事項を記入する。

精密検査例

- 採血・・・腫瘍マーカー検査等
- 画像精検・・・CT撮影(造影含む)の精密検査等
- 精検・・・胸腔鏡検査、気管支ファイバースコープ検査、経皮的針生検法、経気管肺生検法、胸水検査、病理組織診断、細胞診断の検査等
- 呼吸検査・・・呼吸機能検査、動脈血液ガス分析等

注5: 次年度の受診の欄については、次年度の検査を行わない場合にその理由を記入する。

具体的には、医療の必要があるとされた者については、その旨を(可能であれば疾患の名称もあわせて)記入するとともに、石棉手帳の取得、労災、救済法の認定や申請中である場合にはその旨を記入する。

注6: 平成24年度未受診者であっても平成22年度または平成23年度に受診した者については、A-1表(調査対象者以外はA-2表)の後方に記入する。

A-1表(別表):調査対象者(平成16年以前に北九州市門司区に居住していた者)のうち平成24年度未受診者の一覧表:198名

通し番号1~40

症例番号	性別	生年(西暦)	H21年度の受診の有無	H22年度X線所見	H23年度X線所見	H24年度X線所見	H25年度X線所見	H26年度X線所見	H22年度CT所見	H23年度CT所見	H24年度CT所見	H25年度CT所見	H26年度CT所見	ア.直接職業あり	イ.間接職業あり	ウ.家庭内ばく露あり	エ.立入・屋内環境ばく露あり	オ.その他	ばく露歴分類	備考(他所見、特記事項)	次年度の受診
1	女	1930代	検査せず														●		エ		
2	男	1960代	有														●		エ		
3	女	1940代	有	検査せず	なし					なし								●	オ		
4	男	1930代	検査せず											●					ア		
5	男	1950代	有	⑨						②⑨				●					ア		終了 石綿手帳
6	男	1930代	有											●					ア		
7	女	1930代	有		なし					—								●	オ		
8	男	1930代	有											●			●		ア		
9	女	1950代	検査せず															●	オ		
10	男	1940代	有											●					ア		終了 石綿手帳
11	男	1920代	有	なし						⑨				●			●	●	ア		
12	男	1940代	有											●				●	ア		
13	女	1940代	有		なし					なし							●	●	エ		
14	女	1940代	有											●				●	ア		
15	男	1930代	有											●	●				ア		終了 石綿手帳
16	女	1930代	検査せず												●				イ		
17	男	1940代	有											●				●	ア		
18	男	1930代	有	⑤疑						なし				●				●	ア		
19	女	1940代	有	なし	なし					—	—			●		●		●	ア		終了 石綿手帳
20	男	1940代	有	なし						—					●	●		●	イ		
21	男	1930代	有											●				●	ア		終了 石綿手帳
22	女	1950代	有															●	オ		
23	男	1940代	有	②疑						②⑨				●					ア		終了 石綿手帳
24	男	1920代	有											●					ア		
25	男	1940代	有														●	●	エ		終了 石綿手帳
26	女	1940代	有											●		●	●	●	ア		終了 石綿手帳
27	女	1950代	有														●		エ		
28	男	1940代	有	⑨						—								●	オ		
29	男	1930代	有															●	オ		
30	女	1960代	有														●	●	エ		
31	女	1930代	有												●		●	●	イ		終了 石綿手帳
32	女	1940代	有														●		エ		
33	男	1940代	有														●	●	エ		
34	男	1940代	有											●			●		ア		終了 石綿手帳
35	女	1930代	有	なし	なし					—	—					●		●	ウ		
36	男	1940代	有	⑨	なし					なし	—						●	●	エ		
37	女	1940代	有	なし	なし					—	—					●		●	ウ		
38	男	1930代	有	①⑤⑦ 疑⑨						①②⑤ ⑧				●			●	●	ア		
39	男	1930代	有															●	オ		
40	男	1940代	有											●			●		ア		

通し番号 41～80

症例番号	性別	生年(西暦)	H21年度の受診の有無	H22年度X線所見	H23年度X線所見	H24年度X線所見	H25年度X線所見	H26年度X線所見	H22年度CT所見	H23年度CT所見	H24年度CT所見	H25年度CT所見	H26年度CT所見	A.直接職業あり	イ.間接職業あり	ウ.家庭内ばく露あり	エ.立入.屋内環境ばく露あり	オ.その他	ばく露歴分類	備考(その他所見、特記事項)	次年度の受診
41	女	1920代	検査せず														●		エ		
42	女	1950代	検査せず														●		エ		
43	男	1950代	有														●		エ		
44	男	1970代	有											●					ア		
45	女	1960代	有															●	オ		
46	男	1930代	有	⑤					⑤					●			●		ア		
47	男	1940代	有											●			●		ア		終了 石綿手帳
48	男	1930代	有	⑨					⑨					●			●		ア		
49	男	1930代	有											●				●	ア		
50	女	1940代	有	⑨	なし				—	—						●			ウ		
51	男	1930代	有											●				●	ア		終了 石綿手帳
52	男	1940代	有	②疑					②								●	●	エ		終了 石綿手帳
53	女	1920代	有														●	●	エ		
54	男	1950代	検査せず															●	オ		
55	女	1940代	有															●	オ		
56	女	1960代	検査せず															●	オ		
57	女	1960代	検査せず															●	オ		
58	女	1940代	有															●	オ		
59	女	1970代	有															●	オ		
60	女	1930代	有											●				●	ア		終了 石綿手帳
61	男	1960代	有											●					ア		
62	男	1930代	有	なし					⑨						●			●	イ		
63	女	1930代	有															●	オ		
64	女	1930代	有											●				●	ア		
65	女	1950代	有	なし					—							●		●	ウ		
66	女	1950代	有													●			ウ		
67	男	1920代	有	⑨					②⑨					●					ア		終了 石綿手帳・ 死亡
68	女	1940代	有	なし					なし									●	オ		
69	男	1940代	有											●				●	ア		終了 石綿手帳
70	女	1940代	有											●				●	ア		終了 石綿手帳
71	男	1940代	有											●				●	ア		
72	男	1980代	有														●		エ		
73	男	1940代	有	⑨	⑨				—	—				●					ア		
74	女	1950代	有	なし	なし				—	—						●			ウ		
75	女	1970代	有															●	オ		
76	男	1960代	有											●					イ		
77	女	1930代	有														●		エ		
78	男	1920代	有	⑤					⑤⑨					●			●		イ		
79	女	1930代	有													●			ウ		
80	男	1960代	有														●		エ		

通し番号 81~120

症例番号	性別	生年(西暦)	H21年度の受診の有無	H22年度X線所見	H23年度X線所見	H24年度X線所見	H25年度X線所見	H26年度X線所見	H22年度CT所見	H23年度CT所見	H24年度CT所見	H25年度CT所見	H26年度CT所見	ア直接歴あり	イ間接歴あり	ウ家庭内ばく露あり	エ立入・屋内環境ばく露あり	オその他	ばく露歴分類	備考(他所見、特記事項)	次年度の受診
81	女	1960代	有	なし					—							●	●		ウ		
82	男	1950代	有	⑤⑨	⑤				⑤⑨	⑤				●				●	ア		
83	男	1930代	有											●					ア		
84	男	1920代	有											●				●	ア		
85	男	1940代	有		なし				—									●	オ		
86	男	1940代	検査せず													●		●	ウ		
87	女	1940代	有	②					②					●		●		●	ア		終了 石綿手帳
88	男	1970代	有															●	オ		
89	女	1970代	有															●	オ		
90	女	1930代	有													●			ウ		
91	女	1950代	有															●	オ		
92	男	1970代	有															●	オ		
93	男	1980代	検査せず															●	オ		
94	女	1950代	有															●	オ		
95	男	1970代	検査せず											●				●	ア		
96	男	1950代	有															●	オ		
97	男	1980代	有															●	オ		
98	女	1950代	有															●	オ		
99	女	1940代	有															●	オ		
100	女	1930代	有	なし					—									●	オ		
101	男	1940代	有											●					ア		終了 石綿手帳
102	女	1950代	有															●	オ		
103	男	1940代	検査せず															●	オ		
104	女	1970代	検査せず															●	オ		
105	男	1940代	有	⑦疑					なし					●				●	ア		
106	女	1940代	有	なし					—									●	オ		
107	女	1980代	有															●	オ		
108	男	1940代	有	②					②					●				●	ア		
109	女	1930代	有															●	オ		
110	男	1960代	有	なし					—									●	オ		
111	女	1940代	有	なし	なし				—	なし								●	オ		
112	女	1960代	有															●	オ		
113	男	1930代	有											●				●	ア		終了 脳梗塞
114	女	1930代	有												●			●	イ		
115	男	1960代	有															●	オ		
116	女	1950代	検査せず															●	オ		
117	男	1950代		なし					②						●				イ		終了 石綿手帳
118	男	1930代		⑤⑨					②⑤						●				イ		
119	女	1930代		なし					なし							●		●	ウ		
120	男	1940代		②					②⑥疑					●			●	●	ア		終了 石綿手帳

通し番号 121~160

症例番号	性別	生年(西暦)	H21年度の受診の有無	H22年度X線所見	H23年度X線所見	H24年度X線所見	H25年度X線所見	H26年度X線所見	H22年度CT所見	H23年度CT所見	H24年度CT所見	H25年度CT所見	H26年度CT所見	A.直接職歴あり	I.間接職歴あり	ウ.家庭内ばく露あり	エ.立入-室内環境ばく露あり	オ.その他	ばく露歴分類	備考(他所見、特記事項)	次年度の受診
121	女	1950代		なし					なし									●	オ		
122	男	1930代		なし					なし					●	●				ア		辞退
123	女	1950代		⑨					⑨							●		●	ウ		辞退
124	男	1940代		なし					⑤					●				●	ア		終了 石綿手帳
125	男	1930代		⑤疑					②⑨					●					ア		終了 石綿手帳
126	女	1950代		⑤疑					⑨						●	●		●	イ		
127	男	1940代		なし					⑨						●		●	●	イ		
128	女	1930代		なし					⑨							●		●	ウ		
129	女	1950代		—					なし							●		●	ウ		
130	女	1950代		なし					なし							●		●	ウ		
131	男	1950代		なし					なし						●			●	イ		
132	女	1940代		なし					⑤					●		●	●		ア		
133	男	1940代		なし					なし									●	オ		辞退
134	女	1940代		なし					⑨									●	オ		辞退
135	女	1950代		なし					なし							●		●	ウ		
136	女	1970代		なし					なし							●		●	ウ		
137	女	1970代		なし					なし							●		●	ウ		
138	男	1960代		なし					なし					●					ア		
139	女	1950代		なし					⑨							●			ウ		
140	女	1930代		①②⑦					②⑤⑦⑧					●				●	ア		終了 救済制度・ 死亡
141	男	1960代		なし					⑨					●			●		ア		
142	女	1960代		なし					なし									●	オ		
143	男	1950代		なし					なし					●					ア		
144	女	1930代		②					②⑨					●		●		●	ア		
145	男	1940代		なし					⑨					●			●	●	ア		
146	女	1940代		⑨					⑨							●	●	●	ウ		
147	女	1930代		なし	なし				なし	—						●	●	●	ウ		
148	男	1930代		⑦疑⑨					⑦疑									●	オ		
149	男	1950代		なし					なし					●					ア		
150	男	1930代		⑤					⑤⑨					●					ア		
151	男	1940代		なし					なし						●			●	イ		
152	女	1950代		なし					なし								●	●	エ		
153	男	1970代		なし					なし									●	オ		
154	男	1930代		⑤					②					●					ア		終了 死亡
155	男	1940代			なし				なし								●	●	エ		
156	男	1940代			なし				⑦					●				●	ア		
157	女	1940代			なし				なし							●		●	ウ		
158	女	1920代			なし				⑨					●			●	●	ア		
159	男	1950代			なし				⑨					●			●	●	ア		
160	男	1940代			なし				②					●			●		ア		

通し番号 161~198

症例番号	性別	生年(西暦)	H21年度の受診の有無	H22年度X線所見	H23年度X線所見	H24年度X線所見	H25年度X線所見	H26年度X線所見	H22年度CT所見	H23年度CT所見	H24年度CT所見	H25年度CT所見	H26年度CT所見	A.直接職業あり	I.間接職業あり	ウ.家庭内ばく露あり	エ.立入.屋内環境ばく露あり	オ.その他	ばく露歴分類	備考(他所見、特記事項)	次年度の受診
161	女	1930代		なし					なし							●		●	ウ		
162	男	1930代		なし					②					●				●	●	ア	終了 石綿手帳
163	男	1940代		⑨					⑨					●				●	●	ア	
164	女	1940代		②					②							●	●		ウ		
165	男	1950代		なし					なし						●			●	イ		
166	女	1940代		⑨					⑨									●	●	エ	
167	男	1950代		検査せず														●	オ		
168	女	1930代		検査せず														●	●	エ	
169	女	1970代		なし					なし										●	オ	
170	女	1940代		⑨					⑨										●	オ	
171	男	1980代		なし					なし										●	オ	
172	男	1940代		なし					②					●				●	●	ア	
173	女	1960代		なし					なし							●			●	ウ	
174	男	1930代		②疑					②					●	●			●	●	ア	終了 石綿手帳
175	男	1940代		⑨					⑨					●				●	●	ア	
176	女	1930代		②					②					●		●	●	●	ア	終了 石綿手帳	
177	男	1940代		なし					なし									●		エ	
178	男	1970代		なし					なし									●		エ	
179	女	1930代		⑨					⑨					●				●	●	ア	
180	男	1950代		なし					なし					●				●		ア	
181	男	1950代		検査せず										●						ア	
182	女	1950代		なし					⑧										●	オ	
183	男	1930代		⑨					⑨										●	オ	
184	男	1930代		なし					なし										●	オ	
185	女	1940代		なし					なし										●	オ	
186	男	1930代		⑨					なし					●				●	●	ア	
187	男	1940代		なし					なし					●					●	ア	
188	女	1940代		なし					⑨							●			●	ウ	
189	女	1990代		なし					なし										●	オ	
190	男	1960代		⑨					⑨						●			●		イ	
191	男	1950代		②					②						●				●	イ	
192	男	1950代		②⑨					②⑨					●					●	ア	終了 石綿手帳
193	男	1950代		なし					⑨					●				●	●	ア	
194	女	1960代		なし					なし					●		●	●	●	ア		
195	女	1930代		⑨					⑨							●			●	ウ	
196	男	1960代		なし					なし					●		●	●		ア		
197	女	1960代		なし					なし					●	●				●	ア	
198	女	1940代		⑨					⑨					●				●	●	ア	終了 石綿手帳

A-2表：調査対象者以外の一覧表：7名

通し番号1～7

A-2表：調査対象者以外の一覧表：7名

症例番号	性別	生年(西暦)	H21年度X線受診の有無	H22年度X線所見	H23年度X線所見	H24年度X線所見	H25年度X線所見	H26年度X線所見	H22年度CT所見	H23年度CT所見	H24年度CT所見	H25年度CT所見	H26年度CT所見	ア.直接職業あり	イ.間接職業あり	ウ.家庭内ばく露あり	エ.立入・屋内環境ばく露あり	オ.その他	ばく露歴分類	備考(その他所見、特記事項)	次年度の受診
1	男	1960代		なし	なし				なし	—				●	●				ア		
2	男	1930代				②⑨					②⑤⑥⑦			●						ア	
3	男	1950代				なし					②			●						ア	
4	女	1960代				なし					なし					●				ウ	
5	男	1940代				⑤					⑤⑦疑⑧						●			エ	
6	男	1940代			なし				なし					●						ア	
7	女	1940代			なし				なし					●		●				ア	

A表の注釈

注1: 所見については、胸部X線検査および胸部CT検査の結果を踏まえ、石綿ばく露に関連する可能性がある①～⑧及びその他の所見⑨(石綿ばく露に関連しない)を確認する(重複含む)。

- ① 胸水貯留
  - ② 胸膜プラーク(限局性の胸膜肥厚斑)
  - ③ びまん性胸膜肥厚
  - ④ 胸膜腫瘍(中皮腫)疑い
  - ⑤ 肺野の間質影
  - ⑥ 円形無気肺
  - ⑦ 肺野の腫瘍状陰影(肺がん等)
  - ⑧ リンパ節の腫大
  - ⑨ その他の所見
- なし 特記すべき所見がない

注2: ばく露歴については、該当するものすべて●を記入(ア～オは重複可)

- ア. 直接石綿を取り扱っていた職業がある者
- イ. 直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職業がある者
- ウ. 家族に石綿ばく露の明らかな職業がある者で作業員を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性が考えられる者
- エ. 職場以外で石綿取扱施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者
- オ. 上記ア～エ以外のばく露の可能性が特定できないもの(居住地や学校・職場等の周辺に石綿取扱施設がある場合も含む)

(「具体的なばく露歴」の記入例)

- 例1 幼少期(S25-27頃)に石綿工場で遊んだ経験があり、父が石綿工場で勤務していた。 → ウとエ
  - 例2 石綿工場近くの〇〇小学校にS30-35の6年間通学 → オ
  - 例3 S28-40の間、設備の点検のため石綿工場に定期的に入出りしていた。かつ、住居が石綿工場に近接(S26-50に〇〇1丁目に居住)していた。 → イとオ
- イとエの分類が紛らわしいものの例: 業務上で吹き付け石綿がある場所や石綿工場の敷地内に立入る場合は、原則「イ」とする。ただし、作業現場以外(事務室・当直室・食堂など)への立入に限っては「エ」とする。

注3: ばく露歴分類については、各事業のばく露要因を1つに分類するもの。なお、複数のばく露歴がある者については、基本的には下記に従うものとする。

- ア. 直接石綿を取り扱っていた職業がある者
  - イ. 上記アに該当せず、直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職業がある者
  - ウ. 上記ア～イに該当せず、家族に石綿ばく露の明らかな職業がある者で作業員を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性が考えられる者
  - エ. 上記ア～ウに該当せず、職場以外で石綿取扱施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者
  - オ. 上記ア～エに該当しないもの
- 上記以外による分類が適当であると考えられる場合や判断が困難な場合には、症例番号と具体的な内容を記入し、具体的な分類については環境省と相談することとする。

注4: 備考欄については、精密検査項目、特記すべき病名や所見、検査などその他の特記事項を記入する。

- 精密検査例
- 採血・・・腫瘍マーカー検査等
  - 画像精検・・・CT撮影(造影含む)の精密検査等
  - 精検・・・胸腔鏡検査、気管支ファイバースコープ検査、経皮的針生検法、経気管肺生検法、胸水検査、病理組織診断、細胞診断の検査等
  - 呼吸検査・・・呼吸機能検査、動脈血ガス分析等

注5: 次年度の受診の欄については、次年度の検査を行わない場合にその理由を記入する。

具体的には、医療の必要があるとされた者については、その旨を(可能であれば疾患の名称もあわせて)記入するとともに、石綿手帳の取得、労災、救済法の認定や申請中である場合にはその旨を記入する。

注6: 平成24年度未受診者であっても平成22年度または平成23年度に受診した者については、A-1表(調査対象者以外はA-2表)の後方に記入する。

13. ばく露歴集計

B表: 調査対象者(平成16年以前に北九州市門司区に居住していた者)に関するばく露歴集計表

ばく露歴 ばく露歴分類	ばく露歴					小計		合計	
	ア.直接職歴あり	イ.間接職歴あり	ウ.家庭内ばく露あり	エ.立入・屋内環境ばく露あり	オ.その他	計	うち女性	計	うち女性
ア	●					24	3	74	15
	●	●				1	0		
	●		●			1	0		
	●			●		6	0		
	●				●	22	6		
	●	●	●			0	0		
	●	●		●		0	0		
	●	●		●	●	0	0		
	●		●	●		2	2		
	●		●		●	5	1		
	●		●	●	●	8	0		
	●	●	●	●		0	0		
	●	●	●	●	●	0	0		
	●		●	●	●	5	3		
	●	●	●	●	●	0	0		
イ		●				7	3	18	8
		●	●			1	1		
		●		●		1	0		
		●			●	4	1		
		●	●	●		1	1		
		●	●		●	2	1		
		●	●	●	●	1	0		
ウ			●			8	8	28	27
			●	●		0	0		
			●		●	20	19		
			●	●	●	0	0		
エ				●		4	0	15	3
				●	●	11	3		
オ					●	43	28	43	28
合計※	74	19	46	40	122	178	81	178	81
うち女性※	15	8	37	10	63				

※ 縦計については、重複計上により算定した。

※ 問診のみの者を除く。

#### 14. ばく露歴及び年齢階層分類表

C表: 調査対象者(平成16年以前に北九州市門司区に居住していた者)に関するばく露歴分類と年齢階層別のクロス表

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	9	4	1	0	1	0	0	0	0	0	7	4
40～49歳	14	3	7	0	1	0	1	1	2	0	3	2
50～59歳	11	8	3	1	0	0	3	3	1	1	4	3
60～69歳	71	33	22	5	11	5	13	13	9	1	16	9
70～79歳	61	30	32	8	3	2	11	10	3	1	12	9
80～89歳	12	3	9	1	2	1	0	0	0	0	1	1
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	178	81	74	15	18	8	28	27	15	3	43	28

※平成25年3月29日現在  
※問診のみの者を除く。

#### 15. ばく露歴とX線画像所見のクロス集計表

D表: 調査対象者(平成16年以前に北九州市門司区に居住していた者)に関するばく露歴分類と画像所見のクロス集計表

D-1表: 胸部X線の画像所見について

	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
調査対象者	178	81	74	15	18	8	28	27	15	3	43	28
胸部X線受診者	178	81	74	15	18	8	28	27	15	3	43	28
石綿関連所見(疑いを含む)実人数	20 (4)	6 (2)	16 (1)	4	2 (1)	1 (1)	0	0	1 (1)	0	1 (1)	1 (1)
①胸水貯留	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②胸膜ブランク(胸膜肥厚斑)	15 (2)	4	12 (1)	3	1	0	0	0	1 (1)	0	1	1
③びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤肺野の間質影	6	2	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)	3 (3)	2 (2)	1 (1)	0	1 (1)	1 (1)	0	0	0	0	1 (1)	1 (1)
胸部X線未受診者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※①～⑦のうち、重複計上含む。  
※( )は所見疑いを再掲  
※問診のみの者を除く。

## 16. ばく露歴とCT画像所見のクロス集計表

D表:調査対象者(平成16年以前に北九州市門司区に居住していた者)に関するばく露歴分類と画像所見のクロス集計表  
D-2表:胸部CTの画像所見について

	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
調査対象者	178	81	74	15	18	8	28	27	15	3	43	28
胸部CT受診者	90	37	42	7	11	4	14	13	4	2	19	11
石綿関連所見(疑いを含む)実人数	33 (4)	10 (1)	25 (3)	5	2	1	2 (1)	2 (1)	2	1	2	1
①胸水貯留	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②胸膜ブランク(胸膜肥厚斑)	26 (1)	7	21 (1)	4	2	1	0	0	2	1	1	1
③びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤肺野の間質影	8	3	6	2	0	0	1	1	0	0	1	0
⑥円形無気肺	2 (1)	0	2 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)	3 (3)	1 (1)	2 (2)	0	0	0	1 (1)	1 (1)	0	0	0	0
⑧リンパ節の腫大	3	2	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0
②胸膜ブランク且つ⑤肺野の間質影あり※1	4 (1)	1	4 (1)	1	0	0	0	0	0	0	0	0
胸部CT未受診者	88	44	32	8	7	4	14	14	11	1	24	17

※①～⑧は重複計上含む。

※( )は所見疑いを再掲

※1 胸膜ブランク且つ肺野の間質影がある者について、2所見のうち、いずれかが「疑い」であれば、( )の所見疑いに計上している。

※問診のみの者を除く。

⑤肺野の間質影の詳細分類(胸部CTの画像所見)

	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
肺野の間質影実人数	8	3	6	2	0	0	1	1	0	0	1	0
胸膜下曲線様陰影	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胸膜下曲線様陰影うち直下(再掲)	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胸膜下曲線様陰影うち非直下(再掲)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小葉中心性粒状影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
すりガラス様陰影	5	3	3	2	0	0	1	1	0	0	1	0
網状影	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
蜂窩肺	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肺実質内帯状影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※( )は所見疑いを再掲

※一人が複数の所見を有している場合には、それぞれの所見を記載

③びまん性胸膜肥厚の所見における石棉との関連

③びまん性胸膜肥厚	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
石棉の関連を強く疑う	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石棉の関連を疑う	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石棉の関連の可能性はある	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他の原因である可能性が高い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※( )は所見疑いを再掲

⑤肺野の間質影の所見における石棉との関連

⑤肺野の間質影	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
石棉の関連を強く疑う	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石棉の関連を疑う	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石棉の関連の可能性はある	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
他の原因である可能性が高い	6	2	4	1	0	0	1	1	0	0	1	0
合計	8	3	6	2	0	0	1	1	0	0	1	0

※( )は所見疑いを再掲

D-3表:調査対象者(平成16年以前に北九州市門司区に居住していた者)に関する石綿関連所見が見られた者の  
年齢階層別(胸部CTの画像所見)

①～⑧の年齢階層別集計

①胸水貯留

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80～89歳	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※( )は所見疑いを再掲

②胸膜ブランク(胸膜肥厚斑)

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	3	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0
70～79歳	17	5	16	4	0	0	0	0	1	1	0	0
80～89歳	5 (1)	2	2 (1)	0	2	1	0	0	0	0	1	1
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	26 (1)	7	21 (1)	4	2	1	0	0	2	1	1	1

※( )は所見疑いを再掲

③びまん性胸膜肥厚

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80～89歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※( )は所見疑いを再掲

④胸膜腫瘍(中皮腫)疑い

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80～89歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※( )は所見疑いを再掲

⑤肺野の間質影

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	3	1	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0
70～79歳	4	2	3	1	0	0	1	1	0	0	0	0
80～89歳	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8	3	6	2	0	0	1	1	0	0	1	0

※( )は所見疑いを再掲

⑥円形無気肺

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～79歳	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80～89歳	1 (1)	0	1 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2 (1)	0	2 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※( )は所見疑いを再掲

⑦肺野の腫瘍状陰影(肺がん等)

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	1 (1)	1 (1)	0	0	0	0	1 (1)	1 (1)	0	0	0	0
70～79歳	1 (1)	0	1 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80～89歳	1 (1)	0	1 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3 (3)	1 (1)	2 (2)	0	0	0	1 (1)	1 (1)	0	0	0	0

※( )は所見疑いを再掲

⑧リンパ節の腫大

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～79歳	2	2	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0
80～89歳	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	2	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0

※( )は所見疑いを再掲

②胸膜プラーク且つ⑤肺野の間質影あり

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～79歳	3	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0
80～89歳	1 (1)	0	1 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4 (1)	1	4 (1)	1	0	0	0	0	0	0	0	0

※( )は所見疑いを再掲

※胸膜プラーク且つ肺野の間質影がある者について、2所見のうち、いずれかが「疑い」であれば、( )の所見疑いに計上している。

## 17. ばく露歴分類が「オ（その他）」の者に関するプロット図

E表: 調査対象者(平成16年以前に北九州市門司区に居住していた者)に関するばく露歴分類が「オ(その他)」の者の詳細

E-1表: ばく露歴分類が「オ(その他)」の居住開始時期(胸部CTを受診した者)

「オ(その他)」の調査対象者	居住開始時期																						
	～昭和29年までに居住を開始した者		昭和30年から昭和34年までに居住を開始した者		昭和35年から昭和39年までに居住を開始した者		昭和40年から昭和44年までに居住を開始した者		昭和45年から昭和49年までに居住を開始した者		昭和50年から昭和54年までに居住を開始した者		昭和55年から昭和59年までに居住を開始した者		昭和60年から平成元年までに居住を開始した者		平成2年から平成6年までに居住を開始した者		平成7年から平成11年までに居住を開始した者		平成12年から平成16年までに居住を開始した者		
実人数	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
19	11	4	3	0	0	1	0	2	1	2	1	4	2	2	2	2	1	1	1	1	0	0	0

E-2表: 調査対象者(平成16年以前に北九州市門司区に居住していた者)に関するばく露歴分類が「オ(その他)」の対象期間に居住歴がある者と画像所見のクロス集計表

「オ(その他)」の調査対象者	居住開始時期																							
	～昭和29年までに居住を開始した者		昭和30年から昭和34年までに居住を開始した者		昭和35年から昭和39年までに居住を開始した者		昭和40年から昭和44年までに居住を開始した者		昭和45年から昭和49年までに居住を開始した者		昭和50年から昭和54年までに居住を開始した者		昭和55年から昭和59年までに居住を開始した者		昭和60年から平成元年までに居住を開始した者		平成2年から平成6年までに居住を開始した者		平成7年から平成11年までに居住を開始した者		平成12年から平成16年までに居住を開始した者			
実数	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	
「オ(その他)」の調査対象者	19	11	4	3	0	0	1	0	2	1	2	1	4	2	2	2	2	1	1	1	1	0	0	0
石綿関連所見(疑いを含む)実人数	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
①胸水貯留	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②胸膜プラーク(胸膜肥厚斑)	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち肺野の間質影もある者 <sup>※1</sup>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤肺野の間質影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥円形無気肺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧リンパ節の腫大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

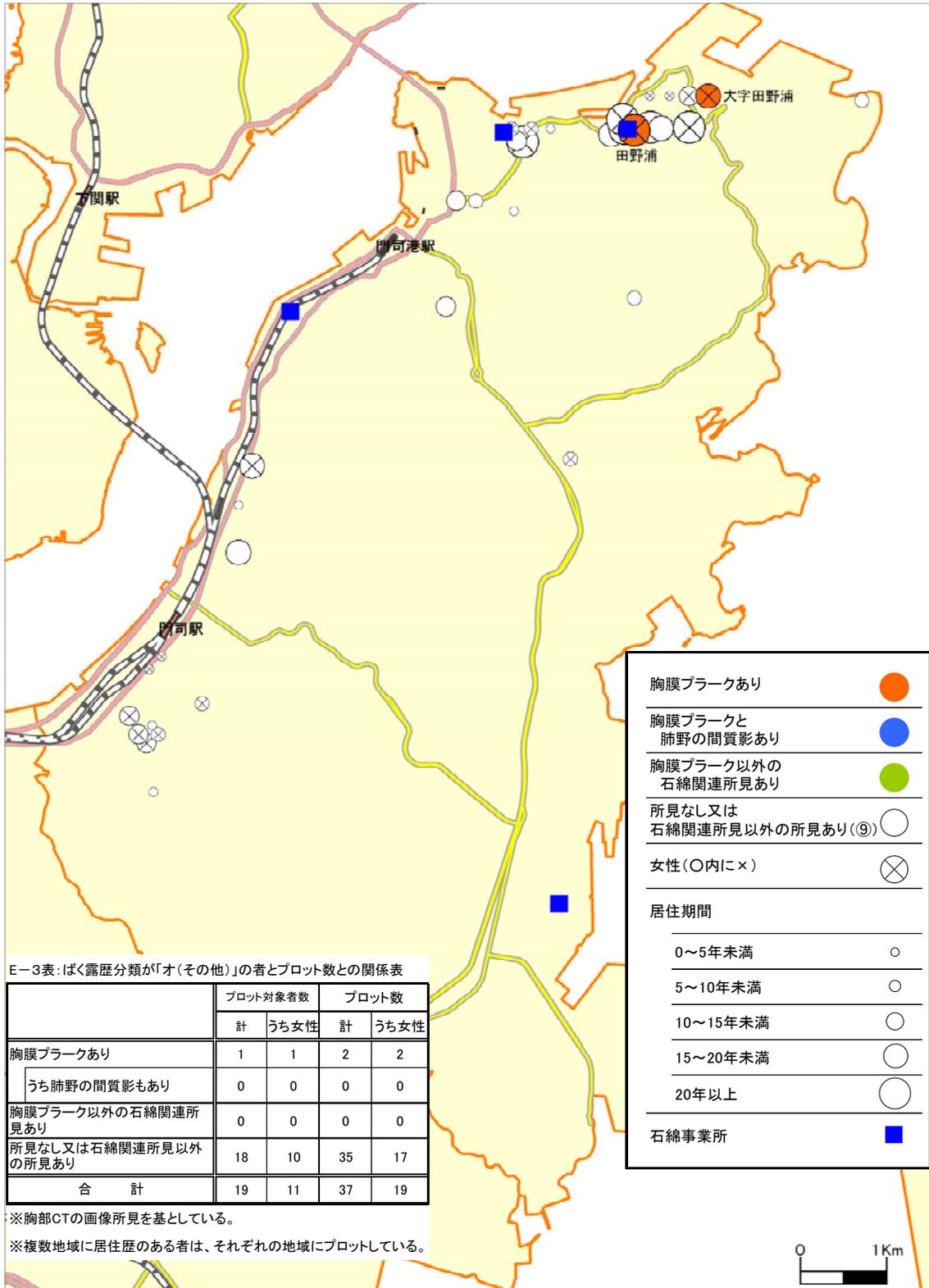
※胸部CTの画像所見を基に計上している。

※①～⑧は重複計上含む

※( )は所見疑いを再掲

※1 胸膜プラーク、うち肺野の間質影もある者について、2所見のうち、いずれかが「疑い」であれば、( )の所見疑いに計上している。

E図：ばく露歴分類が「オ(その他)」の者に関するプロット図



※ 「胸膜プラークあり」の者は1名であるが、2箇所に居住歴があるため、それぞれをプロットしている。

E-4表:調査対象者(昭和7~平成16年に北九州市に居住していた者)に関する  
ばく露歴分類が「オ(その他)」で胸膜プラークのプロットがある町名別一覧表

	プロット数					
	胸膜プラークありの者のプロット数		うち肺野の間質影もある者のプロット数		全プロット数	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
羽山	0	0	0	0	1	1
下二十町	0	0	0	0	1	0
花月園	0	0	0	0	1	0
丸山	0	0	0	0	1	0
原町別院	0	0	0	0	1	1
社ノ木	0	0	0	0	3	3
小松町	0	0	0	0	1	1
上馬寄	0	0	0	0	2	1
大久保	0	0	0	0	5	3
大字黒川	0	0	0	0	1	1
大字大積	0	0	0	0	1	0
大字田野浦	1	1	0	0	4	4
大字白野江	0	0	0	0	1	0
大里原町	0	0	0	0	1	1
田野浦	1	1	0	0	9	3
東馬寄	0	0	0	0	1	0
東門司	0	0	0	0	2	0
南本町	0	0	0	0	1	0
計	2	2	0	0	37	19

※胸部CTの画像所見を基としている。

※複数居住歴のある者は、それぞれの町ごとに計上している。

18. 第2期石綿の健康リスク調査を受診し、医療の必要があると判断された者の診断経過について

平成22・23年度に石綿の健康リスク調査を受診し、医療の必要があると判断された者※12名がその後、医療機関でどのような診断を受けているのか確認するため、本人や家族に確認を行った。

その結果、1名が肺がん、1名が肺がん疑いと診断されていた。なお、肺がんと診断された1名は死亡しており、石綿救済制度において認定されていた。肺がん疑いの1名についてはその後手術を受けたが、肺がんではなかった。

また、平成22・23年度に石綿の健康リスク調査を受診したが医療が必要と判断されず、健康リスク調査とは別のきっかけ（平成23・24年度の石綿の健康リスク調査未受診※2）で、石綿関連疾患と診断された者の有無について、本人や家族に照会を行ったが、診断された者はいなかった。

※1 平成22年度又は、平成23年度に石綿の健康リスク調査を受診し、医療の必要があると判断された者ただし、その後の医療の結果、石綿関連疾患と判断されなかった者は除く。

※2 平成23、24年度いずれか、又は両方に未受診の者

表ア-1:石綿関連疾患と診断された者の診断状況

	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
<b>リスク調査が発見の契機</b>												
a. 中皮腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
b. 肺がん	2 (1)	1	2 (1)	1	0	0	0	0	0	0	0	0
c. 石綿肺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
d. 良性石綿胸水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
e. びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	2 (1)	1	2 (1)	1	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>リスク調査以外が発見の契機</b>												
a. 中皮腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
b. 肺がん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
c. 石綿肺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
d. 良性石綿胸水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
e. びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>合計</b>												
a. 中皮腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
b. 肺がん	2 (1)	1	2 (1)	1	0	0	0	0	0	0	0	0
c. 石綿肺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
d. 良性石綿胸水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
e. びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2 (1)	1 (1)	2 (1)	1	0	0	0	0	0	0	0	0

※( )は所見疑いを再掲

※肺がんについては、石綿以外の原因によるものも含まれている。

表ア-2:石綿関連疾患と診断された者の労災、石綿救済法の認定状況

	合計																			
	ア主に直接職歴				イ主に間接職歴				ウ主に家庭内ばく露				エ主に立入・屋内環境ばく露				オその他			
	労災	石綿救済	計	うち女性	労災	石綿救済	計	うち女性	労災	石綿救済	計	うち女性	労災	石綿救済	計	うち女性	労災	石綿救済	計	うち女性
リスク調査が発見の契機																				
a. 中皮腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
b. 肺がん	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
c. 石綿肺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
d. 良性石綿胸水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
e. びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リスク調査以外が発見の契機																				
a. 中皮腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
b. 肺がん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
c. 石綿肺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
d. 良性石綿胸水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
e. びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計																				
a. 中皮腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
b. 肺がん	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
c. 石綿肺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
d. 良性石綿胸水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
e. びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※( )は所見疑いを再掲  
 ※肺がんについては、石綿以外の原因によるものも含まれている。

表イ:石綿関連疾患と診断された者の発見契機別

	合計		健康リスク調査		健康リスク調査以外		住民健診		職場健診		人間ドック		自覚症状		他疾患治療中		その他		不明	
	合計	うち女性	計	うち女性	小計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
	a. 中皮腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
b. 肺がん	2 (1)	1	2 (1)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
c. 石綿肺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
d. 良性石綿胸水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
e. びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※( )は所見疑いを再掲  
 ※肺がんについては、石綿以外の原因によるものも含まれている。

表ウ:石綿関連疾患と診断された者の年齢階層別分類表

年齢階層	合計		a. 中皮腫		b. 肺がん		その他石綿関連疾患	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0
50~59歳	0	0	0	0	0	0	0	0
60~69歳	1 (1)	0	0	0	1 (1)	0	0	0
70~79歳	1	1	0	0	1	1	0	0
80~89歳	0	0	0	0	0	0	0	0
90歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2 (1)	1	0	0	2 (1)	1	0	0

※( )は所見疑いを再掲  
 ※肺がんについては、石綿以外の原因によるものも含まれている。

平成24年度環境省委託業務報告書

平成24年度一般環境経路による石綿ばく露健康リスク調査（北九州市）委託業務

平成25年3月29日

発注者 環境省総合環境政策局

環境保健部企画課石綿健康被害対策室

TEL : 03-3581-3351 (内線 6387) FAX : 03-5510-0122

E-mail ISHIWATA@env.go.jp

受託者 住所 福岡県北九州市小倉北区馬借1丁目7番1号

名称 北九州市保健福祉局総合保健福祉センター管理課